はじめに

　このたびは「即利用 BOY　V910 転送キット」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するため、取扱説明書をよくお読みの上、ご利用いただきますようお願い致します。

もくじ

Ⅰ.ソフトウェア使用許諾契約書

弊社ソフトウェアの使用許諾契約書は以下の通りです。ご承諾のうえご使用ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

ヤマヨ測定機株式会社(以下「弊社」といいます)は、「V910転送ソフト」(以下「本ソフト」といいます)を使用する権利を下記の条件で許諾します。

１．著作権

本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。

２．権利の許諾

（１）お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトを日本国内で使用する、非独占的な権利を本契約に基づき取得します。

（２）お客様は、本ソフトを、お客様がお持ちの対象機種１台に限りご使用いただけます。

（３）お客様は、本ソフトのバックアップまたは保存の目的においてのみ本ソフトの全部または一部を一回に限り複製することかできます。

３．制限事項

（１）お客様は、本ソフトのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。

（２）お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトを使用、全部または一部を複製、改変等をすることはできません。

４．本ソフトの譲渡

お客様は、下記のすべての条件を満たした場合に限り、本契約に基づく使用権を第三者に譲渡することができます。

（１）お客様が本契約書、本ソフトを含む本製品、本ソフトのすべての複製物およびその記録媒体、ならびに関連資料を含む本製品のすべてを譲渡し、これらを一切保持しないこと。

（２）譲受人が本契約に同意していること。

５．限定保証

（１）弊社は、本ソフトに関していかなる保証も行いません。したがって、本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

６．責任の制限

（１）弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、一切責任を負いません。

７．契約期間

本契約は、お客様が本ソフトを最初に使用されたときに発効し、下記８．により本契約が終了するまで有効であるものとします。

８．契約の終了

（１）弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様によって被った損害をお客様に請求することができます。

（２）お客様は、本契約が終了したときは、直ちに本ソフトおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

以上

Ⅱ.本製品の使用に際して

1. 本製品をお使いいただくための環境

本製品を快適にお使いいただくには、下記の環境が必要になります

- ・コンピュータ　PC/AT 互換機
- ・OS　Microsoft® Windows® 98SE/Me/2000/XP
- ・スペック　お使いの OS が快適に動作する環境
- ・ポート　D-sub 9 ピン RS-232C ポート

2. 本製品は「即利用 BOY V910」と PC 間の座標転送専用に設計されております。他社製の SHARP PC-V910 を使用した製品には使用できません。

Ⅲ.インストールの手順

1.インストール前の準備

インストールの前に下記の準備を行ってください。

- ・ウィルス対策ソフトなど、常駐ソフトをすべて終了してください。
- ・Windows® 2000/XP をご使用のお客様は Administrator の権限を持つユーザーアカウントでログオンしてください。

2.インストールの開始

通常は CD 内の説明に従ってください。手動で行う場合は、V910 転送ソフトの CD をドライブに挿入し、エクスプローラまたはマイコンピュータから CD を開いて「setup.exe」をダブルクリックして実行してください。「setup.exe」はお使いの環境によっては「setup」と表示される場合があります。



インストール先のフォルダを変更する場合は「参照」を押し、インストールする場所を指定してください。変更の必要が無い場合は「次へ」を押しインストールを進めます。



「アイコンのグループ名選択」画面では設定を変更する必要はありません。「次へ」を押してください。以降、順次「次へ」を選択してインストールを進行してください。インストールの完了後はコンピュータを再起動してください。

Ⅳ.コンピュータと V910 の接続

1.コンピュータと CE-950TS を接続する。

最初にコンピュータの D-sub 9 ピン端子（RS-232C）に CE-950TS を接続します。D-sub9 ピン端子は下図のような形状をしています。



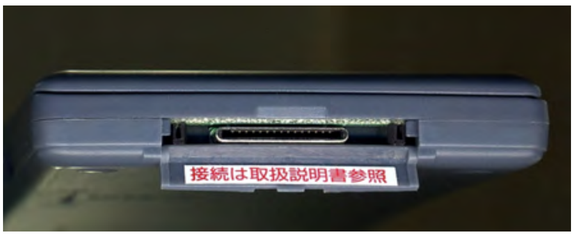
ノートパソコンの例



デスクトップパソコンの例

2.V910 と CE-950TS を接続します。

V910 の下部にある通信端子に CE-950TS を接続します。



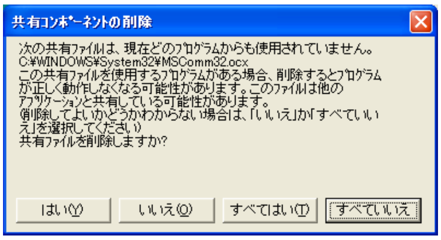
V910 通信端子

V.アンインストールの手順

アンインストールを開始する前に、必ず「V910 転送ソフト」終了してください。



コントロールパネルから「プログラムの追加と削除（アプリケーションの追加と削除）」を開き「V910 転送ソフト」を選択して「変更と削除（追加と削除）」ボタンを押します。アンインストールオプションでは「自動アンインストール」を選択します。アンインストーラが起動したら、順次つぎに進みます。



共有コンポーネントの削除画面で判断に迷った場合は「いいえ」を選択してください。
アンインストールが完了したら、コンピュータを再起動してください。

VI.通信の手順

スタートメニューから「すべてのプログラム（プログラム）」を選択し、「V910 転送ソフト」を開きます。



1.通信設定

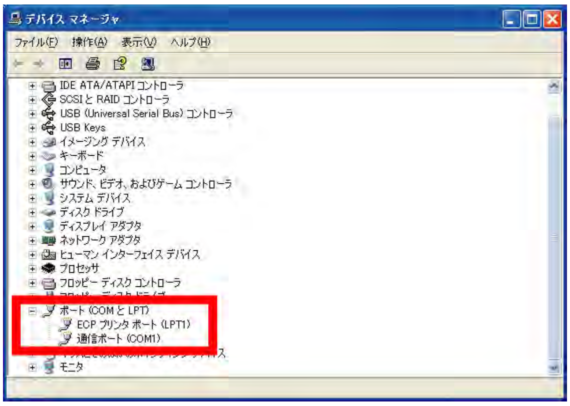
最初に通信設定を開き、V910 との通信に使用するポートを指定します。その他の項目は特に変更の必要はありません。
変更した設定は、「OK」を押すことで自動的に保存されます。



項目	初期値
通信ポート	COM1
通信速度	38400
パリティ	NONE
データ長	8
ストップ	1
ハンドシェイク	0 NONE
RTS	False
DTR	False
通信文字変換	44 を 09 へ
漢字文字変換	？へ変更

! 通信文字変換の項目は即利用 BOY V910 とコンピュータが、正常にデータをやり取りするために必要な設定です。この設定値は変更しないでください。

※使用可能な COM ポートの確認方法
使用可能な COM ポートはデバイスマネージャの「ポート COM/LPT」より確認します。



デバイスマネージャの開き方
1.Windows98/Me の場合
　スタート→設定→コントロールパネル→システムと開き「デバイスマネージャ」タブを開きます。
2.Wndows2000 の場合
　スタート→設定→コントロールパネル→システムと開き、「システムのプロパティ」画面から「ハードウェア」タブを開いて、中段の「デバイスマネージャ」ボタンを押します。
3.WindowsXP の場合
　スタート→コントロールパネル→システムと開き、「システムのプロパティ」画面から「ハードウェア」タブを開いて、「デバイスマネージャ」ボタンを押します。

2.即利用 BOY V910 の操作

接続と設定が完了したら「即利用 BOY V910」の電源を入れます。
V910 のメインメニューから「8.座標管理」を開き、座標管理メニューから「4.座標転送」を開きます。
座標転送メニューが開いたら、通信の目的に従って下記のように操作してください。

通　信　の　目　的	操　　作
V910 から PC に座標を転送	1　ENTER
親機として他の V910 に座標を転送	2　ENTER
PC から座標を受信	3　ENTER
子機として他の V910 から座標を受信	4　ENTER
通信設定を変更	5　ENTER

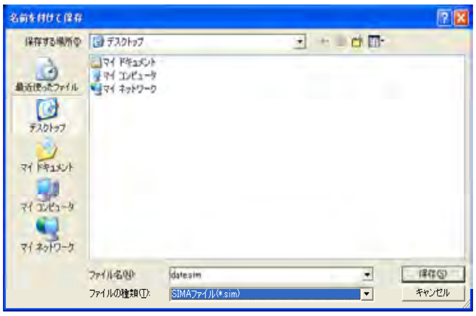
! 転送ソフトの通信設定で通信ポート以外の設定を変更していない場合は、V910 の通信設定を変更する必要はありません。

3.即利用 BOY V910 からコンピュータに座標を転送する。

①コンピュータおよび即利用 BOY V910 に転送ケーブル CE-950TS を接続します

②V910 転送ソフトを立ち上げた後、即利用 BOY V910 の電源を入れ「メインメニュー」→「8.座標管理」→「4.座標転送」と開き、「1 ENTER」と入力します。

③V910 転送ソフトの受信ボタンを押すと「名前を付けて保存」ダイアログが表示されますので、ファイル名と保存場所を指定してください。保存形式は SIMA 形式になります。



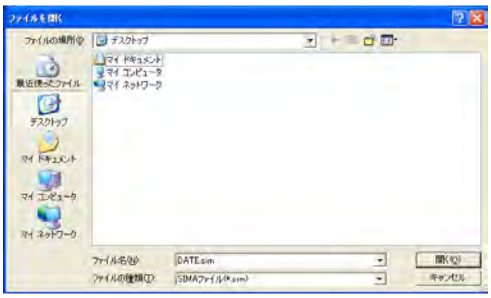
④即利用 BOY V910 の ENTER ボタンを押すと転送が開始されます。

4.コンピュータから即利用 BOY V910 に座標を転送する。

①コンピュータおよび即利用 BOY V910 に転送ケーブル CE-950TS を接続します。

②V910 転送ソフトを立ち上げた後、即利用 BOY V910 の電源を入れ「メインメニュー」→「8.座標管理」→「4.座標転送」と開き、「3 ENTER」と入力します。

③即利用 BOY V910 の ENTER ボタンを押し、V910 転送ソフトの「送信」ボタンを押すと「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、転送する座標データを指定してください。



④ファイルを指定して「開く」ボタンを押すと転送が開始されます。

Ⅶ.転送時の注意

1.点名に使用できない文字

即利用 BOY V910 とコンピュータは「SIMA 形式」のファイルを介して、データの送受信を行います。この際、「 , (カンマ)」をデータの区切りを表す記号として使用するため、カンマが点名に含まれている場合はデータの変質または通信エラーが発生します。「 , (カンマ)」は点名には使用しないでください。

また、プログラムの仕様上の問題により「 “(ダブルクォーテーション)」も使用できません。

2.点名として適していない文字

即利用 BOY V910 では半角カタカナを使用した点名を付けることが可能ですが、外国語環境の Windows や海外製の測量ソフト等に座標を読み込ませた場合、点名が文字化けする場合があります。文字化けが発生した場合は点名に半角カタカナを使用する事を避けてください。

3.電気的ノイズ

転送時に携帯電話などの強い電気的ノイズにさらされると、転送エラーが発生する場合があります。できるだけノイズの発生源から遠ざけた状態で転送を行ってください。

4.座標転送の制限

即利用 BOY V910 は製品の性質上、座標転送時、下記のような制限があります。

(1)座標点数の制限

即利用 BOY V910 に登録できる座標点数は 1000 点です。転送中に即利用 BOY V910 の登録制限数を超えた場合、以降の座標は転送されません。

(2)データ次元の制限

即利用 BOY V910 で扱える座標は平面座標のみです。３次元データを受信した場合、高さの要素は無効になります。

Ⅷ.即利用くんの PC 版との連携

即利用くんの PC 版 Ver2 または即利用 BOY V910 付属の「即利用くんの PC 版 LiteEdition」を使用すると,即利用 BOY V910 単体で使用する場合よりも、さらに効率的な座標管理が可能です。

使用例

・即利用くんの PC 版で作成した座標リストを即利用 BOY V910 に転送
・即利用 BOY V910 の計算結果を即利用くんの PC 版で検証
・即利用くんの PC 版で即利用 BOY V910 用の座標呼び出しリスト作成

1.即利用 BOY V910 のデータを即利用くんの PC 版に読み込む

①「Ⅵ.通信の手順」を参照して、即利用 BOY V910 のデータを SIMA 形式でコンピュータに保存します。

②即利用くんの PC 版を開き「座標管理」プログラムを起動します。

③「座標管理」プログラムのファイルメニューより、「開く」を選択し、ファイル形式を指定して読み込んでください。読み込んだデータは、「即利用くんの PC 版」でそのままご利用いただけます。

2.即利用 BOY V910 に即利用くんの PC 版のデータを読み込む

①即利用くんの PC 版の「座標管理」プログラムを開き、ファイルメニューから「名前を付けて保存」を選択し、SIMA 形式で保存します。

②「Ⅵ.通信の手順」を参照して即利用 BOY V910 に座標を転送します。読み込んだデータは即利用 BOY V910 の各プログラムで、そのままご利用いただけます。転送前に即利用 BOY V910 の座標データをすべて削除しておくと、即利用くんの PC 版で出力した座標データリストがそのまま即利用 BOY V910 の座標管理表としてお使いいただけます。

3.即利用くんの PC 版 Ver.2 と即利用くんの PC 版 LiteEdition の違い

即利用くんの PC 版 LiteEdition は即利用 BOY V910 および転送キットの便利な機能を体験していただく目的で、即利用くんの PC 版 Ver.2 の機能を制限して配布させていただいております。即利用くんの PC 版 Ver.2 と即利用くんの PC 版 LiteEdition の違いは次項の通りです。

即利用くんのPC版 製品版とLiteEditionの比較表

プログラム	製品版	LiteEdition
座標管理	○	○
トラバース（開放・放射）	○	○
逆計算（単独・連続・放射）	○	○
交点計算（直線と直線）	○	×
交点計算（直線と円）	○	×
交点計算（円と円）	○	×
交点計算（クロソイドと直線）	○	×
交点計算（クロソイドと円）	○	×
垂線計算（直線）	○	×
垂線計算（円）	○	×
垂線計算（クロソイド）	○	×
座標面積計算	○	×
ヘロン面積計算（辺長・座標）	○	×
座標プロット	○	○
三角形の計算（２辺夾角・２角夾辺・３辺）	○	×
単曲線要素	○	×
単曲線　座標	○	×
クロソイド要素	○	×
クロソイド座標	○	×
クロソイド平行曲線長	○	×
クロソイド拡幅曲線長	○	×
中心杭・幅杭設置計算（直線）	○	×
中心杭・幅杭設置計算（円）	○	×
中心杭・幅杭設置計算（クロソイド）	○	×
路線座標・中心・幅杭設置計算	○	×
縦断曲線計画高	○	×

Ⅸ.ソフトが正常に作動しないとき

各項目についてご確認ください。

1.インストールできない

Windows® 2000/XP をご使用の場合、Administrator の権限を持つユーザーアカウントでログオンしているかどうか確認してください。

2.V910 転送ソフトが起動できない

障害が発生しているのが V910 転送ソフトのみである場合は、説明書の記載に従ってアンインストールした後、再度インストールしてください。

V910 転送ソフトだけでなく、他のアプリケーションにも障害が出ている場合はオペレーションシステム自体に障害が発生している場合があります。

3.所定の操作を行っても転送が始まらない

通信ポートの設定を確認してください。V910 転送ソフトの通信ポート設定で、無効なポートが指定されている場合は転送が始まりません。

4.通信エラーが発生する

下記について確認してください。

・点名に「 , (カンマ)」が含まれていないか
・点名に「 ”(ダブルクォーテーション)」が含まれていないか
・近くに電磁波などの電気的ノイズを発生する機器がないか
・転送する座標ファイルが壊れていないか

以上の項目を確認した後も、不具合が解消されない場合は下記までお問合わせいただきますようお願い致します。

お問合わせ先

電話　03-3849-6511

ヤマヨ測定機株式会社　営業部